



林芳正農林水産大臣（写真右端）に要望する片岡市長ら

再生農地等地交換制度を要望

林農林水産大臣に要望

総社市が提案している「再生農地等地交換制度」を、政府が検討している「農地中間管理機構」関連法案に盛り込んでもらおうと、8月26日に市長が農林水産省を訪れ、林芳正大臣に要望しました。

渡邊市議会議長やこの提案に賛同している篠田新潟市長、伊藤浜松市副市長、長崎市水産農林部長、小柳全国市長会経済部長らも同行。それぞれの地域が抱える農地の課題を林大臣に訴えました。

再生農地等地交換制度は、6月5日に開催された全国市長会議で採択されています。また、農地中間管理機構については、今秋の臨時国会へ関連法案が上程され、審議される見込みです。

「薪狂言」、有終の美を飾る

神が辻薪狂言・灯ろう

秋の恒例行事である「薪狂言」が、9月13日にカミガツジプラザで開催。大人から子どもまで、多くの人が独創的な演目を楽しみました。

薪が焚かれるなか、神が辻の舞台では、大蔵流善竹忠重一門が、「二人袴」と「福の神」を上演。幕あいには、市内の小学生9人が子ども狂言「以呂波」と「痺痢」と「蟹山伏」を熱演しました。

27年間続いた薪狂言も今年で最後。長年に渡り多くの人を楽しませた薪狂言の最後の舞台は、例年以上に盛り上がっていました。



牛乳パックで作った灯ろう



子ども狂言



大蔵流善竹忠重一門の狂言

ミニフォト

カッコいい消防車を描く



真っ赤な消防車を画用紙に

消防写生大会が9月8日、消防庁舎グラウンドで開かれました。幼稚園児や小学生など約250人が参加。はしご車や救助工作車など4台のなかから好きな消防車を選び、絵の具やクレヨンを使って、画用紙いっぱい描いていました。

県青少年合唱連盟演奏会



みんなで「ふるさと」を合唱

第38回岡山県青少年合唱連盟演奏会総社大会が8月25日、市民会館で開催されました。県内の青少年合唱団16組が出演。心のこもったきれいな歌声で練習の成果を披露し、訪れた約1000人の観衆を魅了していました。

きれいなランプができました



ランプを一生懸命作る子ども

岡山県立大学の教員が講師を務める工作教室が8月21日、同大学で開かれました。参加した小学生20人は、墨流し技法を使ったマーブル模様の紙コップランプシェードの制作に、熱心に取り組んでいました。



軍手の結束作業をする「めぐみ」の利用者

障がい者の自立を支援

雇用型障がい者施設「めぐみ」

平成24年2月に開所した、NPO法人のぞみが運営する就労継続支援A型事業所「のぞみ」の3番目の事業所となる「めぐみ」がオープンしました。

利用者は12人。同事業所では、軍手の縫製・結束作業やフルーツキャップの袋詰め作業などを行います。また、「のぞみ」の2号店「福祉の店ニコニコ堂」で、ラスクやマドレーヌの製造・販売なども行っています。

100歳おめでとう



家族に囲まれる高杉さん

高杉喜和女さん（駅前一丁目）が9月1日に満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。習字や俳句が趣味だったという高杉さん。長寿の秘訣は何事にも一生懸命生きてきたことだそうです。

100歳おめでとう



市長に祝福される西野さん

西野眞壽子さん（小寺）が9月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。お茶やお花、短歌などが趣味だったという西野さん。長寿の秘訣は、感謝の気持ちを忘れず生活してきたことだそうです。

100歳おめでとう



祝福される仲野さん

仲野榮さん（総社）が9月8日に満100歳の誕生日を迎えられ、9月10日に県と市から記念品が贈られました。花や歌、読書が大好きだという仲野さん。長寿の秘訣は、バランスを考えて食べ、体を動かしてきたことだそうです。

ネット時代の子育てを学ぶ



講演する山田眞理子さん

ネット環境が激変するなか、子どもとの接し方を学んでもらおうと、子どもと保育研究所ぶろほの所長山田眞理子さんの講演が8月23日、市図書館で開催されました。参加した27人は、メディア漬け時代の問題を真剣に聞いていました。

お金の大切さを学ぶ



お札の教え方を学ぶ小学生

子どもたちにお金の役割と大切さを学んでもらおうと、「きびしんキッズマネー教室」が8月22日、吉備信用金庫本店で開催されました。小学生30人が参加。子どもたちは、お札の教え方などを実際に体験し、楽しく学んでいました。

大自然で貴重な体験を



飯ごう炊さんに挑戦

自然学校が8月17日・18日の両日、鏡水キャンプ場（岡山市北区）で開かれました。小学生27人が参加。テントの設営や飯ごう炊さん、池での水遊び、星空観察など普段できない体験を大自然の中で楽しんでいました。